

令和 7 年度第 1 回秋田市社会福祉審議会（全体会）会議録

日 時：令和 7 年 5 月 2 6 日（月） 午後 1 時 3 0 分から午後 2 時 1 5 分まで

場 所：秋田市役所正庁

出席者：委員 3 7 名

傍聴者なし

欠席者：石田貴洋委員、稲見育大委員、工藤浩一委員、駒野仁彦委員、
中川聖子委員、宮城智恵子委員

（以上、児童専門分科会：6 名）

佐々木明美委員、三浦利哉委員、矢野珠臣委員

（以上、障がい者専門分科会：3 名）

稲庭千弥子委員、熊谷肇委員、玉木克弥委員、綿貫哲委員

（以上、高齢者専門分科会：4 名）

渡邊剛委員

（以上、地域福祉専門分科会：1 名）

主な説明や意見

【令和 7 年度当初予算の概要について】

（事務局）

※会議資料 4 ページから 2 2 ページにより説明

質疑応答

（水澤聡委員）

- ・ 5 ページに「骨格予算として編成」とあるが、この後、肉付けで予算計上される可能性はあるか。
- ・ 6 ページの表で社会福祉施設費が前年度比△34.8%と大きく減少しているが理由は何か。
- ・ 同じく幼稚園費の前年度比△39.0%の理由は何か。

（事務局）

- ・ 6 月の補正予算で肉付け部分が計上される予定になっているが詳細はまだお伝えできない。
- ・ 社会福祉施設費については河辺総合福祉交流センターの軒天パネルの修繕費用を令和 6 年度予算計上していたが、修繕が終了し、今年度は予算計上がないため減額となっている。
- ・ 幼稚園費については、2 つの幼稚園が認定こども園に移

行した関係で幼稚園への給付費が約2億円近く減少していることが要因となっている。

(三浦雅子委員)

- ・14ページの精神障害者交通費補助事業について、精神障害者も身体障害者や知的障害者と同様に交通費を無料化できないか。
- ・22ページのこども誰でも通園制度補助事業について、現状の保育でも園側は既に困難な状態だと考えるが、園側の受け入れの状況はどうか。

(事務局)

- ・精神障害者交通費補助事業は精神障害者の経済的負担を軽減し、継続的な通院や社会福祉施設などへの通所を支援することが目的であるため、現時点ではこれに限っての支援とさせていただいている。なお、バス事業者側で、精神障害者保健福祉手帳の提示によって運賃を50%割引く制度があるので、ご理解いただきたい。
- ・こども誰でも通園制度補助事業は今年度からスタートする事業であり、実際にこの制度を運用して実施する施設はこれから認可する段階のため、実績は発生しておらず、受け入れ状況については、制度開始までもう少しお待ちいただきたい。

以上